

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リンク		
○保護者評価実施期間	R8年 4月 15日		～ R8年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R8年 4月 15日		～ R8年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 5月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性理解・専門性 ニーズが把握された支援計画	保護者や本人のニーズを丁寧に聞き取り、特性を理解したうえで、本人に必要な具体的な支援を考えるようにしている。	保護者会やペアレント・トレーニングを実施することで、保護者間の交流も深まり、さらに専門性が増すのではないかと思う。
2	保護者に対する丁寧な説明	保護者の理解を確認しながら説明するよう心がけ、面談時も保護者と共通理解ができるよう配慮している。	専門性を高めることでさらに保護者に有益な情報提供ができるよう、研修機会などを活用する。
3	通っている子どもが安心して過ごせる支援	子供たちに寄り添った支援を心がけ、本人の意志や気持ちを最優先に支援している。	子どもたちの気持ちを聞く機会を多くつくり、本人が自分らしく居られる場所になるよう支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の少なさ	情報発信の方法が確立されておらず、立案から実施までに時間を割けない現状が続いている。	情報発信が増やせるよう、すぐに取り組める方法の検討からしていきたい。
2	保護者会の開催 ペアレント・トレーニングの実施	保護者会については年に1回開催できているが、回数が少ないのもあり認知されていない。ペアレント・トレーニングについては実施できていない。	保護者会、ペアレント・トレーニングどちらも開催回数が増やせるよう、計画の立案からしていきたい。
3	地域社会との繋がりを意識した運営	イベント等でボランティア活動への参加や地域の自然活動への参加をしているが、常に繋がりを意識した運営はできていない。	定期的な地域社会との繋がりが意識できる方法を検討しながら実現を目指したい。